

# 魅力と活力にあふれ、にぎわいに満ちたまち

まちづくりの施策に係る方向性を「県東部で1番都市的魅力にあふれ、にぎわいのあるまち」と定め、民間と行政との協働のまちづくりを進めます。

## 都市的魅力の向上

### ▶鉄道高架化関連事業【14億20万円】

鉄道高架事業の1日も早い着工に向け、地権者との交渉を進め、新貨物ターミナル用地等の取得に努めるとともに、鉄道事業者との協議などを進めていきます。

### ▶香陵公園周辺整備事業【1,600万円】

新市民体育館の建設、香貫駐車場の建て替え、市民文化センターの改修を予定している計画地全体の一体的な整備に向け、埋蔵文化財などの調査を行います。

### ▶まちなか居住推進事業【150万円】

良好な住環境の創出を目指し、多様な世代の主体的な活動を促すサロンを開催するほか、土地・建物の活用を指向する所有者に対し、アドバイザーを派遣するなど、新たな土地利用の促進に取り組みます。

### ▶まちなか起業支援事業【300万円】

まちなかで起業を目指す人を対象に勉強会や専門家によるアドバイスなどを行い、まちなかでの居住を支える様々なサービスの担い手を育成します。

### ▶ぬまづまちあるきマップ作成事業【260万円】

沼津港から中心市街地へのまち歩きを楽しむ人のために、店舗や施設等を紹介する温かみのある手書きの地図を作成し、新たなまちの宝・魅力を発信していきます。



まち歩きを楽しむ人に必見  
毎月15日開催の「あけつち稲荷市」

## 公民連携によるまちづくり

### ▶民間支援まちづくりファンド事業【1,250万円】

「民間支援まちづくりファンド」の制度を創設し、市民等が自発的に取り組むまちづくり活動を支援していきます。

### ▶リノベーションまちづくり推進事業【1,700万円】

既存の遊休不動産を活用し、まちなかに魅力ある空間を創出するリノベーションのまちづくりを進めていくために、実践的技術を学ぶスクールの開催などを行い、実業化を目指します。



専門家に手法を学びます

### ▶公共施設公民連携推進事業【300万円】

民間事業者のノウハウやアイデアを活かし、「少年自然の家」の利活用を図るとともに、その他の公共施設についても有効な活用策を検討します。

### ▶パークマネジメント推進事業【626万円】

更なる公共空間の利活用を促進するため、民間活力の導入などを含めたパークマネジメントプランの策定に取り組みます。

## 魅力発信の強化

### ▶シティプロモーション推進事業【1,220万円】

ユネスコが後援するNGO「世界で最も美しい湾クラブ」への駿河湾の認定に、県及び関係市町と連携して取り組むほか、高校生が頑張るまちとしてのイメージ強化、BARを素材とした都市的イメージの付加など、地域の魅力を使った新しい切り口でのイメージ発信を行います。また、民間の人材を採用した「ぬまづプロデュース課」によるまちのブランド化を進めていきます。



太鼓に、書道に、高校生が活躍

### ▶ふるさと納税推進事業【8,565万円】

寄附への返礼品として、民間のノウハウを活かした魅力ある特産品の開発に努めていきます。また、インターネットや新聞、雑誌等への広告掲載や寄附目的となる事業の明確化などにより、更なるPRと歳入確保に取り組みます。



ふるさと納税返礼品の一例

### ▶ぬまづ暮らし住み替え促進事業【200万円】

移住希望者に対し、本市での暮らしや魅力を発信するとともに、受け入れ体制を構築します。



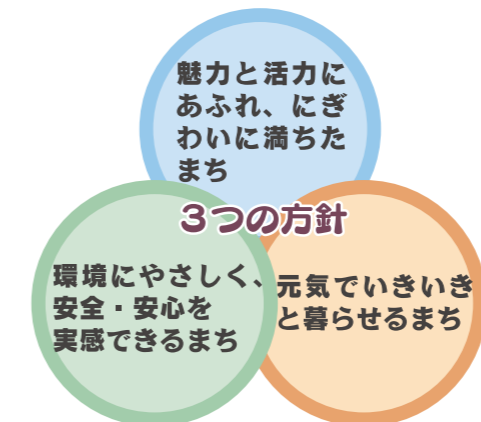
首都圏へ発信！PRポスター

# 「人と環境を大切にする 県東部広域拠点都市・沼津」 の実現に向けて

## 平成28年度 施政方針



第4次沼津市総合計画(平成23～32年度)  
に掲げられたまちづくりの方針



平成28年2月の市議会定例会で、栗原市長が新年度に向けた市政運営の考えと重点施策を盛り込んだ施政方針を発表しました。

また、方針に伴う予算は、(1)少子化対策・子育て支援に関する施策(2)民間と連携した活力あるまちづくりに関する施策(3)国際化に対応するコミュニケーション能力の向上に関する施策への配分が特徴となっています。

今回は、第4次沼津市総合計画に沿って施政方針の要旨を紹介するとともに、新年度予算についてお知らせします。

◎政策企画課  
☎0555・9344・4704

※平成28年度施政方針の全文は、市ホームページに掲載しています。

広報ぬまづ